



2024年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 進学会ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9760 URL <http://www.shingakukai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 平井 将浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 竹山 正輝

TEL 011-863-5557

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,209	△37.2	△1,135	—	△1,110	—	△1,351	—
2023年3月期第3四半期	5,112	△54.7	△1,119	—	△1,093	—	△1,214	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1,099百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △1,180百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△76.13	—
2023年3月期第3四半期	△67.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	22,163	10,305	46.5	580.61
2023年3月期	19,436	11,537	59.4	650.06

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,305百万円 2023年3月期 11,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,470	△32.9	△1,480	—	△1,460	—	△1,610	△89.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社（社名 ） 除外 1社（社名 株式会社プログレス）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	20,031,000 株	2023年3月期	20,031,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,282,446 株	2023年3月期	2,282,446 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	17,748,554 株	2023年3月期3Q	17,967,956 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報2

 (1) 経営成績に関する説明2

 (2) 財政状態に関する説明3

 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明3

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記4

 (1) 四半期連結貸借対照表4

 (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書6

 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項8

 (継続企業の前提に関する注記)8

 (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより経済活動の正常化が進み景気の持ち直しがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー資源の高騰による水道光熱費の上昇、円安による資源価格および原材料価格の高騰、また日本国内における物価高騰など、依然先行きの不透明な状態が続いております。

当社グループの主たる部門である教育関連業界におきましては、少子化や将来的な収入不安定等による個人消費の抑制など厳しい環境に直面しており、それらに対応できる施策が必要となっており、また、教育に関する情勢の変化に対応できるサービスの開発や質の向上が今後ますます求められていくものと認識しております。

このような環境のもと当社グループが今後の更なる成長を実現していくために、提携各社との一層のアライアンスの強化を行い、指導法や教材開発、募集活動等のノウハウの共有を図るとともに、全国の直営会場体制に関しては採算性の重視とスピード感のあるスクラップ&ビルドにより、質と量の両面において教室網の強化を進めております。また、全塾生へタブレット端末を貸与し、自社開発のコンピュータ用学習ソフトの塾内利用ならびにオンライン授業ができる環境を整備し、日本全国どこでも受講可能なAIオンライン塾Go・KaKuを活用し、さらなる顧客獲得をめざしております。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの運営につきましては、教育関連部門における個別指導の全国展開や新規会場の立ち上げ、個別指導とAIオンライン塾Go・KaKuを組み合わせた商品の開発など、売上増加策に取り組んでまいりました。しかしながら、コロナ禍に多くの不採算会場を閉じた影響で売上において計画を下回る結果となりました。また、資金運用事業である株式会社SG総研の売上高は、1,210百万円（前年同四半期比59.5%減）となりました。

その結果、当第3四半期の売上高は3,209百万円（前年同四半期比37.2%減）、営業損失は株式市場の変動による子会社における有価証券の評価損の発生により1,135百万円（前年同四半期は1,119百万円の営業損失）、経常損失につきましては1,110百万円（前年同四半期は1,093百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,351百万円（前年同四半期は1,214百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は、次のとおりであります。

イ. 教育関連事業

コロナ禍で縮小させた会場数の回復を図るため、積極的な会場のビルドを進めるとともに、不採算となっている本部や会場に関してはスクラップを行い、来期に向けて収支の改善を行ってまいります。また、映像配信サービスの充実、採算性の向上にも取り組んでおります。個別指導部門は全国展開にともない生徒数・売上高ともに前年を上回り、また新規メニューの開発に取り組んでおりますが、受講率の伸び悩みから受講単価が予算を下回る状況で推移しました。この結果、売上高は1,071百万円（前年同四半期比7.4%減）となり、180百万円のセグメント損失（前年同四半期は138百万円のセグメント損失）となりました。

ロ. スポーツ事業

道内4ヶ所に施設を構えていたスポーツクラブZipは、2023年12月に不採算であった苫小牧を閉鎖し、経費を削減してまいります。新規生の募集・入会とともに回復の兆しが見えてきましたが、冬の募集においては目標の水準に届かず、売上高は268百万円（前年同四半期比4.0%減）となり、セグメント損失は燃料高騰により4百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

ハ. 賃貸事業

賃貸不動産や学習塾部門の教室の管理・清掃に関わる賃貸事業は、売上高は410百万円（前年同四半期比0.7%減）となり、セグメント利益は193百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

ニ. 資金運用事業

資金運用会社である株式会社SG総研の売上高は1,210百万円（前年同四半期比59.5%減）となり、セグメント損失

は902百万円（前年同四半期は927百万円のセグメント損失）となりました。

ホ. その他

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教材の印刷や備品・消耗品の仕入れ販売などを含んでいます。当第3四半期の売上高は248百万円（前年同四半期比8.1%減）となり、セグメント利益は64百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,022百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,960百万円増加しました。これは主に未収入金が4,372百万円増加したことによるものです。固定資産は11,141百万円となり、前連結会計年度末に比べて233百万円減少しました。これは主に投資有価証券が75百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は22,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,726百万円増加しました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は11,573百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,963百万円増加しました。これは主に有価証券の決済日の関係で未払金が3,629百万円増加したことによるものです。固定負債を含めて負債合計は11,858百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,959百万円増加しました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は10,305百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,232百万円減少しました。この結果、自己資本比率は46.5%（前連結会計年度末は59.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想に関しましては、2023年11月10日に発表した、連結業績予想の修正に関するお知らせ（2023年4月1日～2024年3月31日）に記載している通りで、現状変更の予定はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,474,172	3,688,945
受取手形及び営業未収入金	128,699	61,875
有価証券	2,040,566	1,464,867
商品及び製品	6,495	14,807
仕掛品	—	133
原材料及び貯蔵品	20,500	7,817
未収入金	1,132,249	5,505,108
未収還付法人税等	—	74,035
その他	260,815	205,928
貸倒引当金	△1,265	△1,265
流動資産合計	8,062,235	11,022,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,702,211	13,666,076
減価償却累計額	△7,635,615	△7,789,588
建物及び構築物（純額）	6,066,596	5,876,487
機械装置及び運搬具	571,921	570,185
減価償却累計額	△546,914	△549,736
機械装置及び運搬具（純額）	25,007	20,448
土地	4,122,438	4,122,438
その他	936,328	926,792
減価償却累計額	△907,319	△900,441
その他（純額）	29,008	26,351
有形固定資産合計	10,243,050	10,045,725
無形固定資産		
その他	17,948	18,081
無形固定資産合計	17,948	18,081
投資その他の資産		
投資有価証券	611,714	536,468
敷金及び保証金	137,620	142,488
退職給付に係る資産	280,733	281,857
繰延税金資産	7,883	36,916
その他	75,331	79,671
投資その他の資産合計	1,113,282	1,077,402
固定資産合計	11,374,281	11,141,209
資産合計	19,436,517	22,163,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,310	67,639
短期借入金	5,904,267	6,276,972
未払金	1,198,274	4,827,465
未払法人税等	159,800	29,150
未払費用	62,894	59,951
前受金	138,005	293,338
その他	10,158	19,137
流動負債合計	7,609,711	11,573,654
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,302	83,705
資産除去債務	114,814	110,483
預り敷金保証金	42,167	41,810
繰延税金負債	55,942	48,776
固定負債合計	289,226	284,775
負債合計	7,898,937	11,858,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,984,100	3,984,100
資本剰余金	3,344,000	3,344,000
利益剰余金	5,448,928	3,964,612
自己株式	△1,022,590	△1,022,590
株主資本合計	11,754,437	10,270,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△269,873	△2,798
退職給付に係る調整累計額	53,016	37,710
その他の包括利益累計額合計	△216,857	34,912
純資産合計	11,537,579	10,305,033
負債純資産合計	19,436,517	22,163,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,112,247	3,209,934
売上原価	5,681,307	3,828,336
売上総損失(△)	△569,059	△618,401
販売費及び一般管理費	549,978	517,304
営業損失(△)	△1,119,038	△1,135,706
営業外収益		
受取利息	4,481	2,611
受取配当金	22,674	15,475
その他	18,016	17,525
営業外収益合計	45,172	35,612
営業外費用		
支払利息	3,262	7,542
賃貸借解約損	14,256	—
その他	1,749	2,555
営業外費用合計	19,268	10,098
経常損失(△)	△1,093,134	△1,110,191
特別利益		
固定資産売却益	74,325	—
投資有価証券売却益	2,625	7,608
投資有価証券償還益	158,760	—
役員退職慰労引当金戻入額	6,480	—
特別利益合計	242,190	7,608
特別損失		
固定資産除却損	866	1,241
投資有価証券売却損	213,537	232,931
減損損失	—	18,258
特別損失合計	214,403	252,431
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,065,347	△1,355,015
法人税等	149,583	△3,813
四半期純損失(△)	△1,214,930	△1,351,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,214,930	△1,351,202

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,214,930	△1,351,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,629	267,075
退職給付に係る調整額	△6,597	△15,305
その他の包括利益合計	34,031	251,769
四半期包括利益	△1,180,898	△1,099,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,180,898	△1,099,432
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。